



# 国際協力

2023.1  
NO.74  
新春号

JICA 駒ヶ根

## 新春号特別企画 ～新春座談会～

駒ヶ根協力隊を育てる会会長×MWF実行委員長×駒ヶ根訓練所長

新年明けましておめでとうございます。本日は広報紙の新春号特別企画「新春座談会」に駒ヶ根訓練所の小林丈通所長、ゲストとして駒ヶ根協力隊を育てる会の池崎保会長と同育てる会幹事で「みなこいワールドフェスタ」\*(MWF)の実行委員長も兼ねる坂元洋さんにお越しいただきました。よろしく願いいたします。

**1** 駒ヶ根協力隊を育てる会の池崎会長(昨年5月に会長就任)は、2年ほど前に駒ヶ根に移住されてきたとのこと、きっかけと住み心地などお聞かせください。

外務省職員として数か国、最後はブルキナファソで大使館勤務をし、2年半前に定年退職し移住してきました。28年前、外務省の同僚の誘いから家族で駒ヶ根に宿泊した際、中央アルプスの美しさに感動したのがきっかけです。

役人時代、100か国以上を訪問しましたが、駒ヶ根は空気がきれいいて水が美味しく、大自然のエネルギーに満ちた世界でも最も美しい山紫水明の地と感じます。

加えて、市民の皆さんがボランティアと互助の精神に満ちており、家内共々終生の地と考えているところです。



池崎保会長

**2** 小林所長は、以前ブルキナファソのJICA事務所長をされ、池崎会長には大使時代に事務所や隊員達がお世話になったのではないのでしょうか？

池崎会長が、大使として駐在されていた時代に、大使公邸でブルキナファソでは手に入らない日本食を提供いただくなど、隊員たちの労をねぎらっていただき、当時の隊員たちは本当に感謝をしていました。



**3** 池崎会長、協力隊員との交流はいかがでしたか？

これまでモロッコ、コートジボアール、セネガル、チュニジア、そしてブルキナファソで協力隊員と交流してきました。ブルキナファソでは、隊員の大統領への表敬訪問のアレンジや、中間活動報告会で、隊員の苦労話や現地の情報を得たり、実際の活動状況を視察したりしました。

正直に言って悲喜こもごもあるでしょうが、概ね隊員は悩みながらも粘り強く頑張っているなあとという印象です。特に保健医療分野の技術移転という面では難しい側面もありますが、任国を愛し、2年間の経験が人生の大きな思い出となっている隊員が多いと感じました。

**4** 小林所長、事務所長から見て協力隊員はどうでしたか？

ブルキナファソは、世界の中でも開発が遅れている国で、ボランティアとして活動することは、本当に大変なことの連続だったと思いますが、当時の隊員たちは自分に何ができるのかをしっかりと考え、現地の人々に溶け込み活動をしていると感じましたね。

**5** 小林所長、現地ではどのような隊員が求められていると思いますか？

開発途上国での生活は思いもよらない出来事の連続ですから、それらの出来事に柔軟に対応でき、任国の人たちの国民性を理解して周りの方々と楽しく協調しながら活動ができる隊員が求められていると思います。

\*「みなこいワールドフェスタ」(MWF)の「みなこい」は、伊南4市町村(宮田村、中川村、駒ヶ根市、飯島町)の頭文字をとったものです。毎年秋に訓練所がある街らしい国際色豊かなイベントが、一週間に亘りみなこい地域で繰り広げられます。





駒ヶ根国際広場

として地域のみならず、国際交流上への  
と、協力隊OB・OGに集まって頂き、  
きかけづくりなどを目的としています。  
する協力隊週間と、メインイベントとなる  
が国際広場を例年同様に開催しています。

**2004** (平成16年)  
駒ヶ根訓練所開設25周年  
記念事業  
に隣り立つ地球市民の会  
設立10周年記念式典へ参加

**2009** (平成21年)  
駒ヶ根青年海外協力隊訓練所  
開所30周年記念事業  
「平成22年度駒ヶ根協力隊を  
育てる会カレンダー」の配布

**2012** (平成24年)  
中学生体験入隊 (当会主催)  
の初開催  
訓練終了時における記念品  
(オリジナル日本Tシャツ)の  
贈呈

**2016** (平成28年)  
訓練生訓練所入退所時に  
のほり旗を「協力隊通り」  
に掲揚

**2018** (平成30年)  
JICAボランティア事業により派遣  
される方々の総称を  
「JICAボランティア」→  
「JICA海外協力隊」へ変更  
訓練生入所時に「協力隊通り」へ  
激励旗を設置

**2020** (令和2年)  
新型コロナウイルス感染症  
の世界的な流行により、派  
遣隊員の一部帰国、訓練所  
での訓練中止が余儀なくさ  
れる

**2003** (平成15年)  
30周年記念事業

**2005** (平成17年)  
訓練終了時における記念品  
(オリジナルバッチ)の贈呈

**2015** (平成27年)  
福島県二本松市との交流事業  
青年海外協力隊  
発足30周年記念セミナー  
※長野県内各県より受講者多数

**2017** (平成29年)  
青年海外協力隊員と創る  
みなこい地域魅力発見マップ  
作製事業 (市街地まち歩き、  
みなこい地域魅力体験ツアーの  
実施)  
協力隊通り標識4か所修繕※  
帰国隊員里帰り促進  
プロジェクトチラシの製作※  
訓練生激励旗の製作※

**2019** (平成31年/令和元年)  
JICA駒ヶ根青年海外協力隊訓練所  
40周年記念事業の実施  
※長野県内各県より受講者多数  
駒ヶ根来訪の元隊員に駒ヶ根  
ソースかつ丼券 (千円分) を  
配布、駒ヶ根ハーフマラソン等  
で利用  
帰国隊員写真展の開催  
※一長野県内各県より受講者多数

**2021** (令和3年)  
(JICA) 2021年度1次隊から訓練再開

2010

2020

**今後の活動は？**  
育てる会では今後も、以下の4つの事業を中心に、JICA海外協力隊の  
支援をすることに加え、いなな地域のみならず国際理解・国際協力の  
きっかけを作っていきます。

- ・協力隊週間・こまが根国際広場の開催
- ・小さなハートプロジェクト
- ・中学生体験入隊
- ・書き損じはがきなどの収集による国際協力資金の獲得

**協力隊を育てる会に入会する**  
私たちと一緒に、青年海外協力隊を応援しましょう！

個人会員 年会費 1,000円  
法人会員 年会費 3,000円

特典  
・会報の送付  
・各種イベントのご案内

入会申し込み方法  
以下の事務局にお問合せいただくか、お問合せフォーム  
からお申込みください。

駒ヶ根市役所企画振興課 地域政策係  
〒399-4192  
長野県駒ヶ根市南橋町20番1号  
電話 0765-83-2111



**13 坂元さん、訓練所との連携やMWFのあり方についてお聞  
かせください。**

ここ数年の実行委員会は、大学生や高校生などの若い人  
が増えてきました。学生が世界に触れる機会や、新しい出会  
いの場になれば良いと思います。この地域に協力隊があ  
るからこそできる特色有る事業を全国に発信するため、  
JICA、JOCA、OVの皆さんと一緒に活動し、協力をいただき  
たいと思います。

**14 小林所長、新年にあたりwithコロナの時代に合った訓練  
や地域との関係をどのように築いていこうとお考えでしょ  
うか？**

外部から多くの方が参加する訓練ですので、ゼロコロナと  
いうのは難しいと思いますが、陽性者が出てくるとクラスターに  
発展させないような体制を整え、訓練を着実に実施したい  
と考えています。地域のみなさんが安心して訓練生を受け入  
れていただけるよう、引き続き努力をしていきたいと思いま  
す。

ご談話ありがとうございました。新年を迎え、改めて新型コ  
ロナウイルス感染症の終息を祈りつつ、これからも訓練所と  
育てる会が手を取り合って発展していくことを期待したいと  
思います。本日はありがとうございました。

**第29回協力隊週間 ~みなこいワールドフェスタ開催のご報告~**

**国際広場を銀座通りにて3年ぶりに実施！**

10月22日(土)~30日(日)の9日間、昨年度も好評の「ドライブインシア  
ター」をはじめ、南米ペルーからみなこい地域に移住した料理好きのアナさ  
んによる「地球の料理教室」、色鮮やかな民族衣装とヘアメイクをして記念  
写真を撮る「旅の写真館」、地域おこし協力隊とJICA海外協力隊経験者の  
トークイベントなど、多様な文化に触れる多くの体験イベントがみなこい地  
域で行われました！



ネパールのお祭り「ティハール」を  
砂絵体験している国際広場の様子

最終日の国際広場では、駒ヶ根市内の中学生が作成した黒板アートや、中  
米メキシコでお祭りの際に使われるくす玉「ビニャータ」展示、協力隊派遣  
国の民族衣装を着た地域の人たちによるパレードが行われました。また、世  
界の遊びに触れるお祭りスタンプラリー、さまざまな国の料理が楽しめる  
ワールドレストラン、輸入雑貨販売の「協力隊マルシェ」や協力隊応募個別  
相談など、多くのブースが出展され、幅広い世代の方々に賑わいました！

**駒ヶ根訓練所内にVRルームが誕生！**

長野県諏訪市に本社を置くセイコーエプソン株式会  
社様のご協力のもと、訓練所内にプロジェクターを使用  
したVR(バーチャルリアリティ) ルームを新設しました！  
施設見学時に、協力隊員の派遣国や活動の様子などが  
3面映像で体験出来ます！訓練所にお越しの際は、是非  
ご体験ください。



施設見学はご予約が必要になります。  
詳しくはJICA駒ヶ根HPをご覧ください。

また、訓練所入口や2階ロビーのデザインも現在アッ  
プデート中！新駒ヶ根訓練所をお楽しみに！

# 2022年JICA海外協力隊 秋募集説明会を開催しました!

11月1日～12月12日のJICA海外協力隊秋募集期間中、県立長野図書館と松本信毎メディアガーデンで対面型となる募集説明会を開催しました!

協力隊経験者との座談会や個別相談をはじめ、松本会場ではウクライナ避難民の生活支援に関わった協力隊経験者の特別トークイベントも実施しました。

参加者からは「帰国後の活動もイメージすることができる内容だった」「将来参加するための情報収集ができて、参加意欲が高まった」などのコメントをいただきました! JICA長野デスクと駒ヶ根訓練所では、応募に関するご質問・ご相談を引き続き受け付けておりますので、お気軽にご連絡ください。



説明会前の運営スタッフ



ウクライナ避難民支援トークイベントの様子

## 2022年度3次隊(4名) 長野県出身JICA海外協力隊員 行ってきます!!

かとう ほだか  
**加藤 穂高**さん (長野市) 派遣国: ナミビア 職種: 電気・電子設備



エロンゴ州の技術専門学校で、電気工学の基礎知識指導やリモート監視/制御システムの実習指導を通して、技術力向上のお手伝いをしてきます! 笑顔と粘り強さを大切に、何にでもチャレンジしたいと思えます!!

しもとり けんこ  
**下鳥 健吾**さん (茅野市) 派遣国: ニカラグア 職種: 青少年活動



首都の家族省予防課に派遣されます。地域巡回を通して、子供や高齢者を犯罪等から守る活動を行います。警察官としての経験、そして趣味の生け花を生かして、現地に「自分色の花」を咲かせます。

こいけ みさき  
**小池 美咲**さん (小海町) 派遣国: ニカラグア 職種: 作業療法士



作業療法士として、NGOの障害児通所施設へ派遣予定です。病気や障害があってもその子らしい生活を送ることができるよう、ニカラグアの医療や生活環境を知り、楽しく子供たちと関わることを大切に取組んでいきます ¡Vamos!

すずき  
**鈴木みのり**さん (伊那市) 派遣国: ケニア 職種: 体育



ケニア、カカメガ郡の高校へ体育隊員として派遣されます。体育の先生がいない学校へ、日本人として初めての派遣… 現地の子供達に負けないうる元気に、自分ができることを精一杯やって参ります! Nitajitahidi!

## SBC信越放送ラジオに、長野県の協力隊OBOG・出発前隊員・JICA駒ヶ根スタッフが出演中!

毎月第4土曜日  
8時22分～8時33分頃

【武田徹のつれづれ散歩道】内コーナー「地球色の窓を開けよう」

毎月第3月曜日  
13時13分～13時30分頃

【ミックスプラス】内コーナー「協力隊と巡る音楽世界旅行」



SBCラジオHP

## 訓練生のリアルな声をお届け!

訓練生日記  
続々更新中!

JICA海外協力隊の派遣前訓練中の訓練生が、協力隊参加のきっかけや、訓練の様子、1日の楽しみや、同期の仲間たちについてなどを「訓練生日記」として発信しています。皆さま是非ご覧ください!



## 2022年度 駒ヶ根訓練所 派遣前訓練人数実績

1次隊: 69名 2次隊: 45名 3次隊: 66名 4次隊訓練予定: 42名 合計: 222名

発行 独立行政法人 国際協力機構  
駒ヶ根青年海外協力隊訓練所

〒399-4117 長野県駒ヶ根市赤穂15  
TEL.0265-82-6151(代) FAX.0265-82-5336  
E-mail jicakjv@jica.go.jp  
https://www.jica.go.jp/komagane/index.html

JICA駒ヶ根 facebook ページ

<https://www.facebook.com/jicakomagane>

JICA駒ヶ根 メールマガジン

配信希望の方は [jicakjv@jica.go.jp](mailto:jicakjv@jica.go.jp) までメールでご連絡ください!